



あなたにこの本を！

令和8年
2026年

10月号

大阪市立図書館 「あなたにこの本を！」選定委員会

大阪市立図書館が購入した新しい本の中から、図書館員のおすすめの本を紹介します。



…字が大きい



…中高生にも



…図・写真が多い

※〔 〕内の番号は、日本十進分類法（NDC）新訂10版による分類記号です。



世界の虫を食べてみたい

— 幻の「ミツツボアリ」と「素数ゼミ」を追い求めて —



吉田 誠 著

ジャンル：暮らしにうるおいを

緑書房 2025年12月 2700円 ISBN: 978-4-86811-047-7

昆虫食を愛するサラリーマンが世界各地を巡る、異色のグルメ紀行。メープルシロップのように甘い「ミツツボアリ」を求め、豪州の乾燥地帯でハエの大群に襲われながら土を掘り返して採集したり、米国で13年または17年周期で発生する「素数ゼミ」を油で揚げゼミ丼と寿司を作ったりして味わう。中国では蛾(が)の幼虫を養殖する技術を学び、日本での養殖に挑戦するなど、その探究心は底知れない。味の特徴をまとめたレポートもあり、奥深い昆虫食の世界を分かりやすく楽しめる。〔383.8〕



中国 TikTok 民俗学

— スマホからはじまる珍神探訪 —

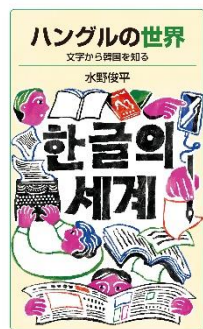


大谷 亨 著

ジャンル：知識・教養を深める

NHK出版 2025年12月 1350円 ISBN: 978-4-14-088754-7

中国在住の民俗学者が、動画SNSを手がかりに、風変わりな信仰の現場をめぐる。真っ赤なシャツに打出の小づちと福袋を持った大男が、参拝者に米を配る動画を発見し、筆者は広東省へ向かう。そこでは、日本で福の神とされる大黒天と、神の声を代弁するシャーマンとが結びつき、独自の民間信仰になっていた。他にも、逆立ちする神や血の涙を流す死神などを追う様子が豊富な写真で紹介される。一見奇妙な神々が暮らしに溶け込む、中国の豊かな民間信仰の世界を知ることができる。〔387〕



ハングルの世界

— 文字から韓国を知る —



水野俊平 著

ジャンル：歴史・文化に親しむ

岩波書店 2026年3月 900円 ISBN: 978-4-00-501007-3

言語学者がハングルの構造と歴史を分かりやすく解説する。1443年にセジョン大王が作ったハングルは朝鮮語の表記に適し、簡素で学びやすく徐々に民衆に浸透する。ハングル制定後も公式文書は永く漢文だったが、現代韓国では漢字を排した「ハングル専用」政策が推進されるに至った。人目を引くような様々な字形のハングルを用いた現地の看板等の写真が多数掲載されるほか、日本の駅名のハングル表記を深掘りしたコラムも興味深く、隣国の文化に親しみ理解を深めるきっかけを与えてくれる。〔829.115〕

「殺された側」から「殺した側」へ、こころを伝えるということ

藤井誠二 著

ジャンル：現代社会を見つめる

光文社 2025年11月 1000円 ISBN: 978-4-334-10809-0

2023年12月、「刑の執行段階等における被害者等の心情等の聴取・伝達制度」が新たに始まった。刑務官を介し、被害者や遺族が思いを加害者に文書で伝え、希望すれば加害者からの返答も受け取れる。この制度を利用した被害者側をノンフィクション作家が取材した。彼らの怒りや悲しみ、憎しみ等が切々とつづられる。一方加害者の返答は様々であることが紹介される。本制度の意義やあり方を問いながら、加害者の贖罪（しょくざい）、更生、取り巻く法制度の現状について深く考えさせられる。〔326.3〕

昭和のくらしはこんなだった



小泉和子 著

ジャンル：歴史・文化に親しむ

平凡社 2026年4月 2500円 ISBN: 978-4-582-84002-5

生活史研究の第一人者が、くらしや家事、すまいを切り口に、昭和のライフスタイルを生き生きと描く。当時の専業主婦は、着物の洗い張りや布団の綿入れなど手間も技能も必要な家事を大量にこなしていたという。病院ではなく近所の産婆さんと呼ぶ自宅分娩（べん）や、専用部屋を設けて使用人が住み込みで働く女中制度など、令和には想像しづらい光景が興味深い。家父長制を背景にした女性蔑視の厳しさにも触れ、著者の実体験や豊富な資料写真とともに時代の変遷について考えさせられる。〔382.1〕

世界味見本帖

ひらいめぐみ 著

ジャンル：暮らしにうるおいを

角川春樹事務所 2026年3月 1600円 ISBN: 978-4-7584-1504-0

世界17か国の料理を日本で味わった著者が、思い出や食の好みをもとにおいしさの感じ方を見つめ直す。おかゆに似たセネガル料理「ガリ」とひなあられ、ペルーの肉料理「ロモサルタード」とホイコーローはそれぞれ近い味がすると気づく。偏食と自認する著者の、味や食感を敏感に感じ取った確かな表現はユーモラスで、苦手な料理でも好奇心を持って誰かと一緒に食べると楽しめるという。「食べる」という行為を通して、未知の味への挑戦が新しい視点や発見につながることを教えてくれる。〔596.2〕

大阪市立図書館では、図書館で受け入れた一般成人向け新刊図書から、「あなたにこの本を！」選定委員会で推せんする図書を選び、「月刊あなたにこの本を！」を発行しています。生涯学習に役立つよう、また、多くの人々に読書に親しんでいただけるよう、幅広い視点で図書を選んでいきます。

バックナンバーは大阪市立図書館ホームページでご覧いただけます。また、「あなたにこの本を！」に選んだ図書の書誌データと紹介文を、オープンデータとして公開しています。1冊ずつにジャンルと紹介文をつけていますので、ご活用ください。

大阪市立図書館「あなたにこの本を！」 <https://www.oml.city.osaka.lg.jp/page/413.html>

